

# 指定管理者制度導入施設の第三者評価結果【対象年度:平成28年度】

## 1 評価対象施設

施設名	長野県山岳総合センター	所管部・課	観光部 山岳高原観光課
指定管理者	長野県山岳協会	指定期間	平成27年4月1日～平成32年3月31日(5年間)

## 2 評価者(敬称略,五十音順)

評価者名	役職等	備考
菊地 俊朗	山岳総合センター 運営懇談会会長	
笹井 文雄	山岳総合センター 友の会	
清水 隆寿	大田市立大町山岳博物館副館長	
山本 綾子	社会保険労務士	
弓場 法	公認会計士	

## 3 評価の実施状況

年月日	場所	内容
平成29年11月28日	長野県山岳総合センター (大田市大町8056-1)	平成28年度の管理運営状況及び県のモニタリング状況について

## 4 評価結果

項目	指摘・意見等	左記への対応方針
施設の目的に沿った管理運営	<p>1. 設置目的に沿って、山岳に関する調査研究、安全登山の普及啓発、野外教育活動などを積極的に展開しており、指定管理者の管理運営を高く評価する。</p> <p>2. 元来長野県の施設であり、まずは県内の人に広報・周知していただき、活用して頂くことが必要であり、受講率の高さに安心することなく、参加者の属性にも目を凝らし、今後の募集では配慮をお願いしたい。</p> <p>3. 例年来ていた高校生の数が減少していることについて、何か対策をとったほうが良いのではないか。ボルダリングの知名度が上がってきており、若年層に有効活用していただかないともったいない。</p>	<p>1. 協定書等に基づき適正な施設の管理運営に引き続き努めてまいります。(指定管理者)</p> <p>2. 今後も引き続き利用者のニーズに応えた講習を実施していくとともに、県内媒体の活用などにより、県民への周知についてもさらに努めてまいります。(指定管理者)</p> <p>3. 高校生に向けたクライミング講習の増設等により体験する機会を増やすとともに、体験した高校生がさらに興味をもってもらえるよう講習内容の工夫に努めてまいります。(指定管理者)</p>
平等な利用の確保	<p>1. 悪天候による講習の中止や急な利用申込みなど予期せぬ事態への対処について想定しておく必要がある。</p> <p>2. ホームページなど多くの媒体を利用して、より広範な人々に情報を発信すべく努力する姿勢が見える。今後、年配者など更に多くの方々に利用していただくため、電子媒体以外の周知方法の工夫も必要。</p>	<p>1. 悪天候の際は講習参加者の安全を考慮し講習場所の変更などの措置を講じているところですが、今後も利用者の安全を第一に適切な対応に努めてまいります。(指定管理者)</p> <p>2. 山岳関係施設に講習の募集要項を配架いただいたり、利用者からの問い合わせに応じ郵送での資料提供等を行っているところですが、今後もより多くの皆様に利用していただけるよう周知方法の工夫に努めてまいります。(指定管理者)</p>
利用者サービス向上の取組	<p>1. 施設自体が老朽化しており、現行に合った施設・整備でないことから、ハード面の整備を担当課においてご配慮いただければ、益々山岳総合センターの利用者サービスの評価が高まるものと感じる。</p> <p>2. 宿泊者やボルダリング利用者などに向けたシャワールームの設置や冬季の利用に向けた段床の改善などが必要。</p>	<p>老朽化が進んでいることから、まずは全体的な修繕計画を立て、指定管理者と連携して進めてまいります。(県)</p>
自主事業	<p>1. 毎年決まりきった講習内容を行うのではなく、山のグレイディングなどの研究の成果を盛り込むなどの工夫が凝らされている。幅広い年代を想定し、そして習熟度にも配慮することにより、リピーターのみではなく、着実に新規の利用者の胸をつかむ成果につながっていると感じる。</p> <p>2. 登山技術だけでなく原点に返って山の楽しさを学ぶような講習も広く取り入れており、山のファン層の拡大にもつながり、事業の方向性において大変好感が持てる。</p> <p>3. 安全登山、野外教育に関する講習会を意欲的に開催しており、参加料も適切な金額が設定されている。特に児童生徒の参加料は低く設定されており、センターの設置目的に沿った取り組みとして評価できる。</p>	<p>多くの方々に自然や山の魅力を知って頂くとともに、安全な登山の実施のために必要とされる知識や技術を習得する場として、情報発信や安全登山の普及に引き続き努めてまいります。(指定管理者)</p>

職員・管理体制	<p>1. 山岳での危険をともなう業務であり、利用者や職員の安全面を考えると、なるべく日程等工夫して職員研修を行ってほしい。 また、職員の業務内容を見直し、各職員に合った労働時間を設定するなどの工夫もぜひ検討してみてください。</p> <p>2. 日曜開設については評価するが、利用者の側からすると、もっと開放的であった方が良いのではないか。</p> <p>3. 講習内容にもよりますが講師に女性が少ないことから、外部の女性を起用する必要があると考える。</p> <p>4. 優秀な人材が確保され、適切な職員配置がなされている。一方、少子高齢社会の中で、将来にわたって、人材を確保していくため待遇の改善についても、県とともに検討していく必要がある。</p>	<p>1. 職員の業務時間等の工夫により適切な労働環境の確保に努めてまいります。特に職員研修による職員の技術力の向上は、講習時の安全確保や内容向上に直結することから、積極的に実施してまいります。(指定管理者)</p> <p>2. 施設内での安全対策等に考慮しながら、利用しやすい施設の管理運営に努めてまいります。(指定管理者)</p> <p>3. 4. 講師の減少が急務の課題となっていることから、研修会の実施等により、女性講師を含め育成に取り組んでまいります。(指定管理者)</p>
収支状況	<p>1. 当期利益の欠損は人件費が大きな要因となっているが、業務の継続性や連続性に配慮し適切な管理運営を行うために要したものであり、やむを得ないものと思料する。</p> <p>2. 28年度は職員の引継等で一時的に人員が増加したが、29年度は適正な人員となっており収支も改善が見込まれる。</p>	利用者サービスや適切な管理運営に留意しながら、適正な収支の管理に努めてまいります。(指定管理者)
総合評価	<p>1. 条例や協定書に基づき、適切に指定管理者としての責務を果たしているだけでなく、積極的に自主事業を展開しており、その活動は高く評価される。</p> <p>2. 年間を通じ多くの講習を実施しており、内容の面からも利用者の満足度評価も高い。また、「信州山のグレーディング」や「登山体力セルフチェック」などを全国に発信し、登山界を牽引する活躍は、十分評価できるものとする。</p>	協定書等に基づき、適切な管理運営と安全登山に向けた情報発信や普及啓発に引き続き努めてまいります。(指定管理者)